

様式 A-1

平成26年 10月6日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 富山県立富山高等学校 ・ 江口 優治(えぐち ゆうじ)
2. 講師氏名: Gregory Bonn 博士
3. 同行者氏名: なし
4. 実施日時: 平成26年 10月1日 (水) 14:20 ~ 16 :00
5. 参加生徒: 1年生 30人 (合計 30人(人文社会科学科:30名))
6. 講演題目: (英文) Exploring Culture & Psychology
(和文) 文化と心理学探究
7. 講演概要:

事前に依頼していた簡単な自己紹介、出身国の文化や歴史、科学者になった動機と専門分野についての概要という順序で講演をしていただいた。特に、講演のメインである人種によって行動に差があるかについての話は生徒に関心が高かった。
8. 使用言語: 英語(100%)、日本語(0%)
9. 講演形式:
 - (1) 講演時間 80 分 質疑応答時間 20 分
 - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)
ゼミナール教室3にて、パワーポイントを使用しての講演
 - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)
特に通訳はせず、必要に応じて本人がパワーポイントの図で説明。ただし、理解を深めてほしいところでは学校担当者が解説した。
 - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)
語彙についてのプリント1枚と講演についてのプリント2枚を実施日の10日ほど前に課題として配布し、講演の理解力を高めるようにした。講演の前日には、特に重要と思われる箇所のパワーポイントのスライド(2枚)を印刷し、学習してくるよう指示した。
10. 学校からの支給経費(該当がある場合): 交通費 宿泊費 謝金
なし
11. その他特筆すべき事項:

事前の対応を含め、真摯に対応していただいた。生徒には講演の内容自体は難しかったが、聞いて理解しようという姿勢が見られた。英語での講演は1年生にはとても刺激があったようで、次回の機会を楽しみにしているという回答が多数あった。